

## 園児たちの奮闘!

～サツマイモ植えを体験～



**中**里こども園の園児たちが6月5日(木)、町の若手農業者を中心に構成される「ばろかだる会」の大川さん協力のもと、町内の畑でサツマイモ植え体験を行いました。

今年は21名の年長組の園児たちが、「あまはづき」と「べにはるか」2種類のサツマイモを植えました。

園児たちに「土のお布団かけてあげてね!」と声をかけると、やさしく苗を植えて、これからの成長を楽しみにしていました。

## ふしぎの連続に大興奮の 芸術鑑賞会が開催

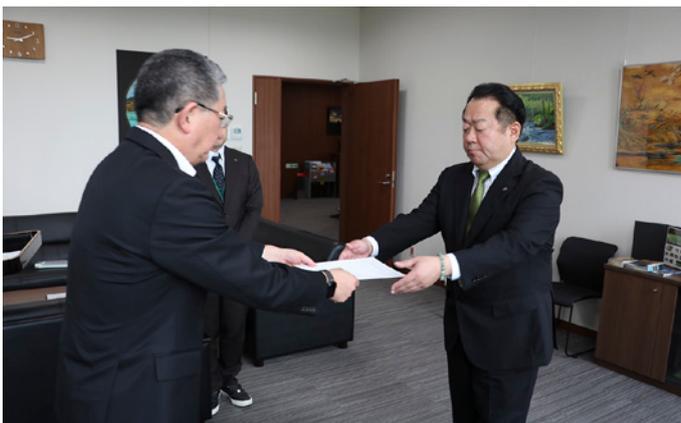
**管**内の小学校を対象にした芸術鑑賞会が6月11日(水)、町民文化センターパルナスで開かれました。

例年行っている演劇や音楽ではなく、今年度はサイエンスショーを鑑賞し、児童たちは身近に存在する化学が引き起こす不思議な体験に大興奮していました。

ショーの最期を飾った巨大空気砲は、飛び出した空気の煙が児童たちの頭上をこえて会場の一番後ろの席まで届き、科学のおもしろさを存分に堪能しました。



## 新副町長に辞令を交付しました



**任**期満了に伴い6月12日(木)に退任した横野彰吾前副町長の後任として、三上晃瑠新副町長が任命され、13日町長室で辞令を交付しました。

三上副町長は1995年に旧中里町役場に入庁後、合併後は総合戦略課長、財政課長を歴任し今年度から総務課長を務めていました。

三上副町長は「これからも町民の皆様の期待に応えられるよう、一層身を引き締めて公務にまい進する。」と決意を述べました。

## 中里小学校の児童がなにもささ踊りを披露

中里小学校で6月14日(土)、なにもささパレードを行い、全校児童がわんぱく広場から津軽鉄道津軽中里駅前までを、郷土の伝統芸能である「なにもささ踊り」を踊りながらねり歩きました。

沿道には多くの町民が集まり声援を送ると、児童たちはその声援にこたえるように力強く踊ります。

ゴールである津軽中里駅前にたどり着くと、6年生が輪になって最後の踊りを披露、踊り終えると沿道からは大きな拍手が送られました。



## 滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドで 恒例のヤマメ放流会

滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドで6月17日(火)、深谷沢砂防ダム魚道ヤマメ放流会が開催されました。

「子供達と共に夢を創る会」(代表：白川勝則)が主催し、平成20年度のダム完成後から今年で17回目を迎えます。

今年も県土整備部河川砂防課と西北県土整備事務所河川砂防施設課、町の協力のもと中里小学校3年生を迎えてヤマメの稚魚5,000匹を放流しました。

児童たちは濱館町長とともにヤマメを放流したほか、ドローンの操縦体験や、土木作業に使用するバックホウの擬似運転も同時開催し、普段ふれることのない体験の数々に目を輝かせていました。



## 『津軽海峡遠泳』今年1回目の挑戦は2組とも成功!!

昨年8月に発足した津軽海峡遠泳連盟がサポートを行う津軽海峡遠泳の第1回目が6月20日(金)、小泊地域で行われました。この日挑戦したスティーブ・リーチさんとエドアード・コラズスさんはそれぞれ無事に完泳し、小泊漁港へ帰港後、小泊地域の町民から熱烈な歓迎を受けました。2人は「こんなにも暖かく迎えてもらったのは初めて。苦しい挑戦だったがゴールできてよかった」と喜びを語りました。この日の津軽海峡遠泳については、特集ページ(2～3ページ)にも掲載しています。

